

## エポキシ樹脂系エマルジョン形ポリマーセメントモルタル



# ボンドEPCモルタル

●日本下水道事業団「コンクリート防食指針(案)」の素地調整材 I 種適合品  
 ●日本農業集落排水協会「コンクリート防食設計指針(案)」の素地調整材適合品

ボンドEPCモルタルは、エポキシ樹脂系エマルジョン形の素地調整用ポリマーセメントモルタルです。プレミックス(既調合)モルタルのため、現場での混合作業が容易で、湿潤面でも接着します。下水道や農業集落排水施設、上水道施設のコンクリート防食、ライニング時の素地調整、下地修正に適した材料です。

**■用途** 素地調整：下水道施設、農業集落排水施設の防食ライニング時のコンクリート素地調整。  
 上水道施設の防食ライニング時のコンクリート下地修正。

**■特長** 規格適合：日本下水道事業団「コンクリート防食指針(案)」の素地調整材 I 種の規格に適合します。  
 日本農業集落排水協会「コンクリート防食設計指針(案)」の素地調整材の規格に適合します。

2成分型：特殊配合セメントの主剤とエマルジョン形の硬化剤を現場で混合する2成分型ポリプレミックス マーセメントモルタルです。

作業性：コテ切れが良く、塗布作業性に優れます。

湿潤接着性：下地がある程度湿潤している状態でも施工が可能で、良好な接着性を示します。

### ■性状

項目	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	エポキシ樹脂特殊配合プレミックスセメント	変性脂肪族ポリアミン、水
外 観	黒灰色の湿潤感のある粉体	淡黄色エマルジョン
混 合 比	主剤：硬化剤=3：1 (質量比)	
可 使 時 間	2時間以内(20℃、1kg)	

※性状は改良のため予告なく変更する場合があります。

### ■施工方法

#### 下 地 確 認

●コンクリート施工面に欠陥部がないか確認します。

#### 混 合

●主剤と硬化剤を3：1(質量比)の混合比で計量し、主剤をモルタルミキサーに投入します(ハンドミキサー可)。次に硬化剤を投入し、全体が均一なスラリー状態になるまで混合攪拌します。一度に混合する量は、可使時間内に使いきれの量にしてください。

#### 塗 布

●適量をコテにとり、モルタル塗り付けの要領で塗布します。  
 (標準塗布量は0.5mm厚みで約1kg/m<sup>2</sup>です。)

#### 養 生

●次工程まで夏季24時間、冬季72時間以上の養生が必要です。下地が湿潤している場合は更に24時間以上の養生が必要です。

※原則として5℃以上の環境で施工してください。

※過剰な水分を添加しないでください。

※直射日光の当たる場所では養生後48時間以内に塗り継ぎを行ってください。

■技術データ

1. 日本下水道事業団コンクリート防食指針(案)の品質規格に基づく試験

試験項目	下水道事業団防食指針(案)規格	試験結果	判定
容器の中での状態	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき 固い塊がなく一様なこと	異状なし	合格
混合性	定められた調合比率で混合したとき 均質に混合すること	均質に混合された	合格
作業性	練り混ぜ後60分後、作業に支障のないこと	異状なし	合格
軟度変化(%)	-15~15	-7	合格
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準養生時	1.5以上	合格
	低温養生時	1.5以上	合格
耐ひび割れ性	ひび割れが発生しないこと	異状なし	合格
耐衝撃性	割れ・はがれがないこと	異状なし	合格
吸水性(g)	1.0以下	0.08	合格
耐久性 (N/mm <sup>2</sup> )	割れ・ふくれ・はがれがなく、接着 強さが1.5以上	2.7	合格
粉体に対する樹脂固形分(%)	5以上	11	合格
ポリマーセメント比(%)	15以上	19	合格
エポキシ樹脂の定性	エポキシ樹脂が存在すること	存在する	合格

2. 性能規格

項目	EPCモルタル(測定値例)	防食指針案規格値	試験方法
粉体に対する樹脂固形分	11	5以上	JIS K 5407-1990
ポリマーセメント比	19	15以上	—
水セメント比(W/C)	50	なし	—
比重	1.8	なし	JIS K 7112-1980
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	37.0	なし	JIS R 5201-1997
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	11.8	なし	JIS R 5201-1997
耐摩耗性(mg/1000回)	440	なし	テーパー式 CS-17、1000g

■梱包容量

●EPCモルタル：20kgセット(主剤15kg、硬化剤5kg)

■警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

**注意事項:** 本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱って下さい。

1. 所定の用途以外には使用しない。
2. 作業場所は十分に換気する。
3. 取り扱い中は皮フにふれないように注意し、保護具を着用する。
4. 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
5. 作業衣などに付着した場合は、すみやかにその汚れをよく落とす。
6. 皮フに付着した場合はすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。
7. 蒸気などを吸い気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じ医師の診察を受ける。
8. 眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じ医師の診察を受ける。
9. 保管条件：2~40℃以下。使用後密封。
10. 廃液は法令に従って処理すること。
11. 温度が5℃以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

ボンド事業本部

大阪本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927  
東京本社/東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175  
福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545  
札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219

仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990  
北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187  
南関東営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636

金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794  
広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676  
高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623

EテW05-03



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

EPCモルタル

1999.5.3000(O)58-FD  
2002.2.3000(T)48-FD  
2005.8.3000(T)35-FD